

広島別院だより

Vol.14
夏号

真宗大谷派（東本願寺）
広島別院教化委員会発行

非核非戦法会

七月六日 広島別院で非核非戦法会が厳修されました。この法会は別院行事として、原爆死没者追弔会を兼ねて、毎年七月六日に勤められます。

当日は、勤行の後、廿日市市正念寺（安芸南組）の吉川洋住職が法話をされました。

長兄を原爆で亡くした吉川師は、オハマ大統領の「被爆者の声なき叫びを聞く」という平和公園演説を手掛かりに、「安らかに眠って下さい。過ちは繰返しませぬから」という広島平和都市記念碑（通称・原爆死没者慰霊碑）の文言に触れ、「私たちは慰霊・鎮魂という名のもとに亡き人を慰め、鎮め、眠らせ、被爆者の声なき叫びに耳を傾けようとしていないのではないか」と問題提起されました。

そして、非核非戦法会という名称について、「反核反戦の『反』という言葉には私たちが核兵器や戦争に反対するという思いがあるのに対し、非核非戦の『非』



講師：吉川 洋 師

という言葉は、私たちの有り様を仏さまが悲しんでいるという『悲』の意味に通じる」として、「真宗の教えは、争いを繰り返す私たちの有り様を悲しむ阿彌陀仏の呼び声を聞くことである。さらに言えば、原爆や戦争で亡くなった人々の声なき叫びを聞かず、ただ眠らせるか、それとも仏さまの智慧の眼

を通して、今現在、私たちに呼びかけてくださっている存在として亡き人々をいただくのか、その判断が私たちに託って念仏者であるかどうかの分かれ道となる」と話されました。



お寺の活動いろいろ

Fブロック同朋大会

六月十九日 みよしまちづくりセンターで、Fブロック（芸備組・安芸南組・安芸北組）同朋大会が開催されました。

「教如上人と千利休の茶の湯から見る教如上人」という講題で、同朋大学の青木馨先生に講演をいただきました。

廃嫡（はいちやく）になりながら茶の湯を駆使して東本願寺を興した教如上人が、エネルギーシユに逞（たくま）しく戦国時代を生きる姿を彷彿させるお話でした。また、当日は会場の別室にて、熊本地震義捐金のための「チャリティー呈茶席」が設けられました。お抹茶を喫んでいたとき、お寄せいただいた義捐金十一万九千九百九十九円は教務所を通じて被災地に届けられました。心から御礼申し上げます。

広島別院に団体参拝されました

左記の団体が広島別院明信院に参拝されました。遠近各地よりお参りいただき誠に有難うございました。

- 二月十日・二十三日 真宗大谷派大谷祖廟 様
- 二月十六日 三重教学研究室 様
- 三月三日 岐阜教区應徳寺 様
- 三月二十六日 安芸北組 光楽寺門徒会 様
- 五月二十四日 滋賀県 赤野井別院 様
- 五月二十五日 京都教務所 様
- 六月二十一日 大阪教務所 様
- 七月十一日 美作組教福寺 様



講師：青木 馨 師



お寺のハテナ？ ぼんとうろう 盆灯籠



広島のお盆の風物詩といえは「盆灯籠」です。色鮮やかな盆灯籠が墓地に並ぶ風景は、他県では見ることができません。もともと、近年は火事の恐れがあるのも、お寺の墓地では盆灯籠を立てることを禁止したり、本数を制限したりするところがほとんどです。

お盆には先祖の霊が帰ってくると言われます。しかし、浄土真宗では、「亡くなられた方はすべて極楽浄土で仏となられたと説かれます。亡くなられた方を縁として、私が仏様の教えに出遇わせていただいたことを感謝するのがお盆の意味です。

灯籠は仏さまに灯りを献じるためのものです。お墓に盆灯籠を立てるのも、亡くなられた方、すなわち諸仏に灯明を供養するのが本来の意義だと思います。

明治十四年生まれの私の曾祖母は、「昔は今のような形ではなかったし、色紙ではなく白い紙を使っていた」と言っていました。歴史を調べると、初盆に白い灯籠を立てるようになったのは、昭和四十年代からだそうです。では、盆灯籠に色紙を使うようになったのはいつからなのでしょう。私の記憶では、昭和三十年代には色紙の灯籠だったように思います。(S・T)

法座・講座等の御案内

◎秋彼岸会

日時 9月23日(金)
14:00～勤行と法話
16:00終了予定
講師 講師 三上誓範 師
(安芸高田市 徳栄寺)

昼夜の時間が等しくなるお彼岸の時節に阿弥陀様の願いを聴聞する法会です。

◎真宗基礎講座

2016年 10月15日(土)
12月17日(土)
2017年 2月18日(土)
4月15日(土)
6月24日(土)

毎回 13:30～16:00
講師 古田和弘 師
(大谷大学名誉教授)

参加費 500円
『歎異抄』を通して浄土真宗の基礎を学びます。

◎定例法話

毎月 5日 (H28.9月・H29.1月は休み)
日程 14:00～勤行と法話
15:00終了予定
講師 県内僧侶(月替わり)

広島別院開基 教如上人の御命日(毎月5日)に法話会があります。

道場樹 編集室より

道場樹への投稿、今回が初めてである。「別院だより」の編集に関わって、一年半ぐらいたろうか？いつの間にか編集のほうへ引き込まれて、広報委員の方からの原稿を取りまとめ、入力、チェック、修正して教務所に入稿する。

文面はこれで良いか、読まれる方が見やすいか、誤字脱字はないか等気にかける。また締切りを気にしてアタフタすることもあるが、入稿完了し、出来上がった別院だよりが自坊に届くと何だか嬉しくなる。こうやって、事多き道を自ら作っているんだなあ(笑)、と思いつつ、今日もパソコンをカチャカチャと編集に力を入れております。

(G・M)

～業務休止のお知らせ～

誠に勝手ながら、広島別院は8月13日から8月17日までの5日間、業務を休止いたします。休止期間中、ご不便をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

なお、上記の期間でお参りをご希望の方は、事前にご連絡ください。



真宗大谷派(東本願寺)広島別院明信院

〒730-0044 広島市中区宝町 4-16

Tel 082-241-5342(電話・FAX 共通)

【HPアドレス】 <http://hiroshimabetsuin.com/>
(アドレスが新しくなりました)